

# 持続可能な観光のためのビジネス標準の取組の具体化

2023年3月16日

第10回UN／CEFACT観光部会

持続可能な観光のためのビジネス標準検討プロジェクト資料

## 国連/CEFACT-持続可能な観光のためのビジネス標準ホワイトペーパー

持続可能な観光のためのビジネス基準の貿易円滑化と電子ビジネスのための国連センター（UN/CEFACT）への技術的運用に関するホワイトペーパーを提出した。

発信元:	旅行及び観光プロジェクトチーム
活動成果:	公開レビュー用ドラフト
日付:	2022年11月15日
ステータス:	ドラフト 第7.2版
目次:	<ol style="list-style-type: none"><li>1. はじめに</li><li>2. 目標と範囲</li><li>3. 持続可能な観光に関するビジネス基準</li><li>4. 国連CEFACTに向けて提案された方法</li><li>5. 評価システム</li><li>6. 将来の機会とリスク</li></ol>

# 1. 持続可能な観光を可能にするビジネス基準作成の流れ

1. 貧困撲滅
2. 飢餓の撲滅と食糧の安全確保
3. 健康な生活、福祉の推進
4. 公平な教育機会
5. ジェンダー平等
6. 水、衛生へのアクセス
7. 持続可能で近代的なエネルギー
8. 雇用、経済成長
9. インフラの充実、産業化の促進、イノベーションの拡大
10. 国家間の不平等の是正
11. 持続可能な都市、居住地の促進
12. 持続可能な消費と生産
13. 気候変動に対する対策
14. 海洋、海洋資源の確保
15. 陸上生態系、森林資源の確保、砂漠化への対処
16. 平和で公正な社会の構築
17. SDG推進に向けた国際的連帯の活性化

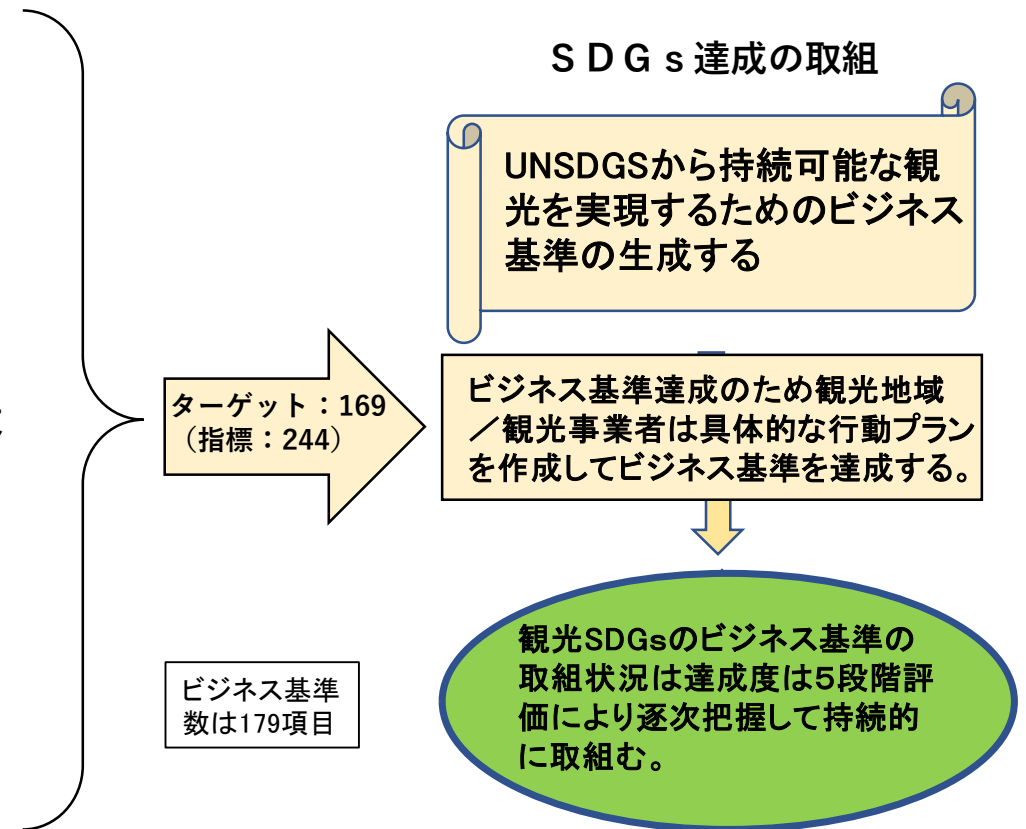
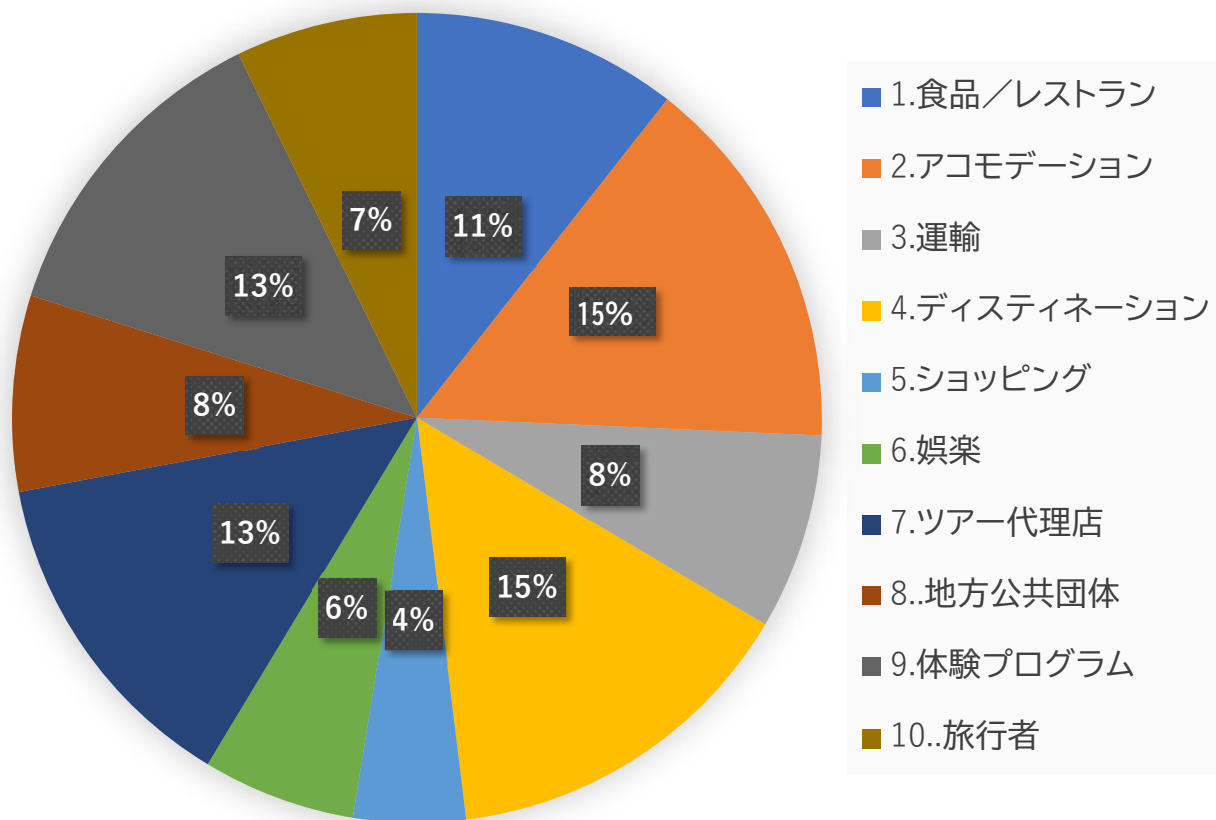


図-1 持続可能な観光を可能にするビジネス基準作成の流れ

## 1-2. SDGs絡みた観光セクター別のビジネス基準数 グラフ(参考資料)



観光セクター	カテゴリー名	ビジネス基準数
1.	食品/レストラン	19
2.	アコモデーション	27
3.	運輸	14
4.	ディスティネーション	26
5.	ショッピング	8
6.	娯楽	11
7.	ツアー代理店	24
8.	地方公共団体	14
9.	体験プログラム	23
10.	旅行者	13
ビジネス基準数の合計		179

図-2 観光セクター・カテゴリー別のビジネス基準数の分布

## 2. UNSDGsの持続可能な旅行・ビジネス標準取組の流れ

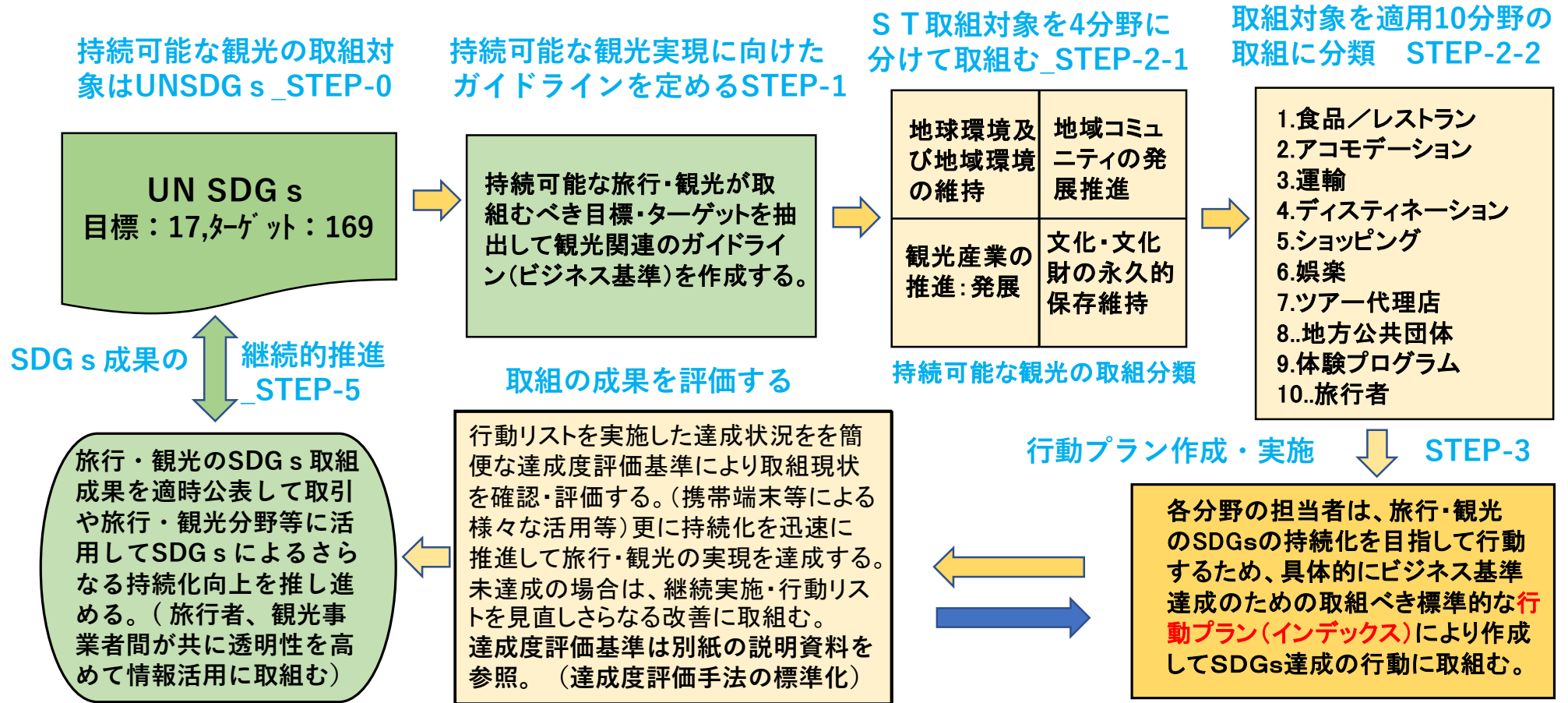
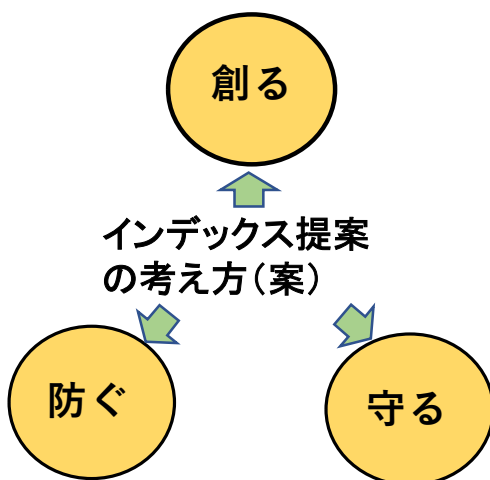


図-3 UNSDGsの持続可能な旅行・観光の具体化取組の流れ

### 3. 観光のビジネス基準「行動プラン作成」のインデックスの標準化のあり方

持続可能な観光のビジネス基準取組の標準化に向け、行動プランインデックスを導入する



ビジネス基準取組の行動プラン(インデックス)は具体的な実業の調査検討が必要であり検討イメージである。

区分	ビジネス基準の指針	ビジネス基準取組プラン（観光事業者が自ら定める）
A	持続可能な社会を創る	QOL・経済、ジェンダー平等、健康・福祉・教育
B	地球温暖化を防ぐ	気候変動対策・適応、産業・技術革新、省エネ
C	野生生物を守る	生物の多様性・保全
D	自然環境を守る	自然遺産、森林地、漁場、耕作地、環境汚染(水質・土壌汚染等)
E	海洋汚染を防ぐ	海洋ゴミ、水質汚染
F1	観光資源を守る -1	文化財、博物館、文化施設・神社、仏閣、庭園
F2	観光資源を守る -2	自然公園、森林、公園、水資源、文化施設
F3	観光資源を守る -3	年中行事、民芸、郷土芸能
G	旅行者を守る (参考)UNWTO:責任のある旅行者になるためのヒントから引用 (Tips for a responsible Traveler)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① その土地の環境に配慮した旅行消費の利用</li> <li>② 自然環境への負荷軽減を意識した行動</li> <li>③ 地元製品の消費や購入</li> <li>④ ソーシャル・ディスタンスの実践と混雑の回避</li> <li>⑤ 訪問地の文化や慣習、マナーなどの尊重、ガイドの利用等による訪問地に関する深い知識の習得</li> <li>⑥ 旅行先でのポジティブな経験の発言</li> </ul>

図-4 ビジネス基準達成「行動プラン」のインデックス化の検討課題

## 〇おわりに

観光産業の構造は形態及び個々の規模が様々であり、観光地などの地域の状況も様々であります。世界的に事業者規模や事業者数も多く、観光産業構造も先進国と観光途上国など産業形態も様々に活動しています。また、その経済的な規模は(ホワイトペーパーの「1.はじめに」で記述したように)国連世界観光機関(UNWTO)の2016年の年次報告書では、2016年の1年間の国際観光客は12億3,500万人に達し、過去7年間の年率4%の継続的な成長とされています。この現状から鑑みてUNSDGsに対する取り組みによる効果も大きく影響の大きい産業と言えます。

このような認識に立って今回提案する持続可能な観光のビジネス基準は観光のセクター全てが共通したアジェンダ2030に取組、地球規模での持続化と達成は観光が担う大変重要なミッションと考えてます。

STプロジェクトのホワイトペーパーの標準的な実施可能性への取り組みには観光産業分野の情報環境のさらなる向上に適合と合わせて環境や社会に配慮したモデルの実現として同時開発のEps TAプロジェクトと連携を含めホワイトペーパー最終章の機会とリスクの課題克服に向けた取組に繋がればと考えおります。

以上